

高浜市長 所信表明演説(令和 7 年 9 月議会)

令和 7 年 9 月 25 日

序章:ごあいさつとスローガン

お許しをいただきましたので、本日、ここに令和7年9月市議会定例会の開会にあたりまして、市長就任のごあいさつと所信の一端を述べさせていただきます、議員各位をはじめ、広く市民の皆さまの、ご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私はこのたび、高浜市長として市政の舵取りを担うこととなりました。市民の皆さまから託された大きな責任を深く受け止めるとともに、議員の皆さま、そして職員の皆さんとともに、新しい高浜の未来を築いていけることに、大きな使命感と希望を抱いております。

私が掲げるスローガンは「たかはま一心～つながる力で未来を創る～」であります。この言葉には、「まちを一つの心に」という願いと、「今ある当たり前を一新し、より良い未来を築く」という決意を込めました。

私はこれまで議会の一員として、市民の声を聞き、政策を磨き、地域の課題に向き合ってまいりました。その経験を生かし、市民の暮らしを守り、未来を拓く責任を果たしてまいります。

就任にあたり、あらためて強く感じていることがございます。それは、市民の皆さまが本当に望んでいるのは、派手なスローガンや一時的な話題づくりではないということです。日々の暮らしに安心があること、子どもたちが未来に希望を持てること、そして災害が起きても命と生活を守れるまちであることです。私はその願いを形に変えるため、全身全霊を注いでまいります。

#1 高浜の現状認識と課題

私が思い描く未来の姿を実現するため、高浜市の現在に目を向けますと、高浜市は今、いくつもの大きな課題に直面しています。

まず、人口減少と少子高齢化です。高浜の人口は約 4 万 9 千人ですが、平成 24

年、13 年ほど前には約 500 人だった出生数は年間 400 人を切り、毎年少しずつ減少しています。市内の高齢化率は約 20%に達し、独居高齢者の世帯も年々増加しています。支える人が減り、支えを必要とする人が増えていく社会構造の変化は、地域の在り方そのものを問い直しています。

次に公共施設の老朽化です。高浜市では平成 23 年度から、全国に先駆けこの課題に取り組んでおり、施設の統廃合や複合化、民間との連携を進めてまいりました。今後も引き続き、時代の変化や財政状況に合わせて粛々と取り組んでまいりますが、近年の建築資材費や人件費の高騰など、想定を超える環境変化もあります。そのため、必要に応じて計画の見直しを行い、市民にとって必要で持続可能な施設配置を実現していく必要があります。

財政の健全化も大きな課題であります。新たな行政課題への対応や物価高騰などの影響により、非常に厳しい財政運営を強いられており、安定的な行財政運営のための財政調整基金確保も喫緊の課題であります。財政調整基金を確保する中で、市民にとって真に必要な取組みに対しては真摯に向き合い、その実現に向け、打開策を見出していかなければなりません。

そして最も重要視しているのが、大規模災害への備えです。南海トラフ地震が発生した場合、西三河一帯で震度 6 強以上の揺れが想定され、最悪のケースでは市内でも数百棟の倒壊や津波による被害が懸念されます。行政の備えは不可欠ですが、発災直後に本当に頼りになるのは、隣近所の助け合いです。阪神・淡路大震災や東日本大震災でも、多くの命を救ったのは地域の人々の声掛けや支え合いでした。

私はこの現実を直視し、「市民と行政が共に支え合う仕組み」を市政の根本に据え、行政が全てを担うのではなく、市民が主体となり、互いに補い合う。そんなまちづくりこそが、これからの高浜に必要なだと考えております。

#2 政策の4つの柱

私が掲げるスローガン「たかはま一心～つながる力で未来を創る～」の実現と直面する課題に対応するため、私は政策の柱として4つの Vision(ヴィジョン)の実現を目指してまいります。

Vision.1 未来を育む心

まず1つ目は「未来を育む心」です。

少子化が進む中で、子どもたちの数は減り、社会の変化は速さを増しています。今の子どもたちは「将来どんな仕事に就くのか」すら、かつての世代よりも想像しにくい時代に生きています。AI やデジタル化の進展、働き方の多様化により、これまでの常識が通用しない未来がやってきます。だからこそ、子どもたちに必要なのは学力だけでなく、自分の将来を自ら描き、選び取る力です。教育や子育て環境を整えることは、単なる子育て支援ではなく、まちの未来を決定づける投資であります。

そのために、私は「キャリア教育」を充実させてまいります。地域の企業や大学、社会人との出会いを通じて、子どもたちが自分の可能性に気づくことができる仕組みを構築してまいります。

学校体育館にはエアコンを設置し、猛暑から子どもを守るとともに、災害時には避難所として快適に過ごせる環境を整えてまいります。

子どもたちの“好き”を学校だけでなく地域全体で支える仕組みをつくるために、地域クラブの活性化を図りながら、部活動の地域連携をすすめてまいります。

また、世代や立場を超えて誰もが気軽に交流や活動ができる「まぜこぜの居場所」を整備し、日常の関わりの中で、安心と元気そして笑顔が育まれる地域共生のまちづくりを進めてまいります。

子育て支援としては、高校生年代までの医療費無償化を検討し、安心して子どもを育てられるまちを目指してまいります。

さらに、市民の一割を占める外国にルーツを持つ方々との共生を進め、多様性を力に変える地域社会を築いてまいります。

Vision.2 安心と希望の心

2つ目は「安心と希望の心」です。

大規模災害は、いつか必ず起きるものとして備えなければなりません。高齢化や独居世帯の増加により、災害時の避難所運営や地域支援はますます困難になってまいります。行政の力だけでは限界があります。だからこそ、平時から地域でつながりを育み、非常時に災害を乗り越える力に変えていくことが不可欠です。

加えて、気候変動による猛暑や豪雨も深刻化しています。日常の暮らしを守る環境整備と、非常時に備える防災力強化の両立が求められています。

そのため私は、基幹的な避難所を中心に防災リーダーを育成し、市民が主体となる災害対応力の強化に取り組んでまいります。これは私の市政における最重要の柱

であり、必ず実現いたします。

次に、中部公園を新たに生まれ変わらせ、災害時には安心して避難できる場所として、平時には子どもから高齢者まで世代を超えて集える交流の拠点であり、健康づくりにも親しめる公園となるよう、高浜の公園づくり全体のモデルとし、取り組んでまいります。

公共施設の屋根には太陽光パネルを導入し、停電時の最低限の電力を確保するなど、非常時の安心とカーボンニュートラルの推進を同時に実現してまいります。

常設型資源ごみ回収センターを整備し、利便性を高めることで、共働き世帯や多様なライフスタイルに対応してまいります。

老朽化が進むごみ処理施設(クリーンセンター衣浦)については、環境と財政のバランスを考え、近隣市との連携や最新技術を活用しながら、将来に責任ある選択をしてまいります。

Vision.3 挑戦と成長の心

3つ目は「挑戦と成長の心」です。

高浜の基盤を支えてきた伝統産業は、住宅の洋風化など建物様式の変化により需要が縮小し、厳しい状況にあります。

一方で、この地域を支える自動車関連産業は、国際競争の激化や通商環境の変化にさらされています。

こうした現実を踏まえ、高浜が持続的に発展していくためには、地域の強みを生かしながら、新しい挑戦に取り組む人や企業を後押しすることが大切です。

税収の安定は市民サービスを維持する基盤です。そこで私は、新たな産業誘致と雇用創出を進めてまいります。

職業訓練校跡地を地域の未来を支える拠点となるよう愛知県と連携してまいります。

また、県の「ステーション AI」と連携し、起業や新規事業に挑戦する市民を応援してまいります。

農業分野では安定経営を支援し、デジタル技術を導入して次世代へつなげようとする取組みを支えてまいります。さらに、新たな産直センターの誘致や新特産品の開発にも挑戦し、ふるさと納税と組み合わせて地域ブランドを強化してまいります。

高浜の魅力を全国へ発信し、挑戦と成長の循環をつくり出してまいります。

Vision.4 共に創るまちの心

4 つ目は「共に創るまちの心」です。

少子高齢化や生活スタイルの変化により、町内会や地域活動の担い手不足は深刻化しています。

しかし、地域のつながりは災害時に命を守る力であり、孤立を防ぐ日常の安心にもつながります。行政だけではなく、市民と共にまちを運営する仕組みを再構築することが急務です。

町内会の負担軽減のため、資源物分別拠点の当番や広報配布を民間委託に切り替え、事務作業は IT 化や外部支援でサポートできるようにしてまいります。

加えて、市民予算枠制度により若者の挑戦を応援し、若い世代がまちづくりに参加しやすい環境を整え、自らの想いやアイデアを形にできる場を広げ、次の世代が高浜の未来をともに描いていけるよう後押ししてまいります。

「公共施設総合管理計画」に従って全国に先駆けて進めてきた公共施設の更新・統廃合を今後も粛々と進めるとともに、時代の変化や財政状況に応じ柔軟に見直し、持続可能で市民に使いやすい施設配置を実現してまいります。

また、「まちづくり協議会」をより良い形に見直し、地域ごとの実情に応じた柔軟な運営を可能にしております。

移動支援サービス「チョイソコ」は、買い物や通院だけでなく近隣市への移動も視野に、誰もが外出しやすい環境を整えてまいります。

#3 議会と職員の皆様へ

最後にここで、議会の皆さまにお願い申し上げます。議会は市民の代表として、市政を監視し提案する大切な役割を担っています。

どうか、議員の皆さまにおかれましては、自治基本条例の趣旨をあらためて共有いただき、市民の意思を的確に市政に反映させるべく、私は議会との建設的な議論を通じて、市民の未来のために共に考え、共に進める、真に市民に求められる市政を築いてまいりたいと考えております。

職員の皆さんには、挑戦する市役所をめざしていただきたいと思います。失敗を恐れず、新しい取組みに踏み出す勇気こそが、市役所を信頼される存在へと変えてい

きます。私は皆さんを支え、共に歩んでまいります。安心して挑戦してください。

#4 結び

以上、市長就任にあたり、私の所信の一端を申し述べさせていただきました。

これからの高浜をつくるのは、市民一人ひとりです。私はその思いを受け止め、実現するお手伝いを全力で担ってまいります。

どうか力を合わせ、笑顔と誇りにあふれる「たかはま一心」を共に築いていきましょう。

議員各位、並びに市民の皆さまの、どうか変わらぬご指導と、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げ、つながる力で未来を創る「たかはま一心」の実現に向けた所信表明とさせていただきます。